

日 付	令和7年6月6日
担当所属	山梨県立笛吹高等学校
担当者名	教頭 矢崎 香織
連絡先	055-262-2135 (内線 201)

笛吹高等学校 1 学年 第 3 回「笛吹ワークショップ」について

1 経緯と目的

経 緯 本校は、令和 5 年度より文部科学省研究開発学校の指定を受けて、「理科」や「情報」、「総合的な探究の時間」を融合した教科「笛吹グローバル」を新設した。この授業では、生徒の主体性のみならず、生徒の課題発見解決能力と情報活用能力、言語能力といった学習基盤の基本となる資質能力の伸長を目指してきた。4 月に入学してきた 1 年生は、3 年間の「笛吹グローバル」で自分自身の興味関心に基づいて地域の課題を見出し、その解決を図る。そこで今年度も、地域で活躍する方々をお招きし、地域の今について生徒たちに伝えていただく機会を設けた。

目 的 様々な分野で活躍する地域の方々のお話を聞いて、自分の生き方やあり方について想いを巡らせるとともに、これまで気づかなかった地域の実情に目を向け、これからよりよい社会にしていくなために解決すべき課題を見出す。

2 日 時

令和 7 年 6 月 13 日（金） 5・6 校時（13：30～15：20）

3 対 象

「FF グローカル I」を履修する 1 年生 214 名

4 内 容

自然、防災、福祉、食、農、観光など 13 分野より、15 名を招いて「笛吹ワークショップ」を 15 ブース開き、生徒の興味関心に応じて地域の現状や課題について考えるワークショップを行う。

（別紙参照）

5 場 所

本校各教室（本館 4F 1 年 3 組～1 年 7 組教室他特別教室 全 15 部屋）

●取材希望

◇生徒たちが、各自の興味関心に応じてブースを回り、地域の現状と課題について考える授業の様子について取材を希望します。



第3回 笛吹ワークショップ 実施要項

目的 様々な分野で活躍する地域の方々のお話を聞いて、地域が抱える課題や現在の状況について理解を深め、生徒がこれから取り組む探究活動の分野決めの参考とする。

日時 令和7年6月13日（金） 13:30~15:20

場所 山梨県立笛吹高等学校 各教室

対象 山梨県笛吹高等学校 1学年「笛吹グローバルI」生徒

内容 自然・工学・防災・食・農・国際・観光・経済・福祉・スポーツ・伝統文化
様々な分野で活躍する講師が、それぞれの持つ課題をどのように見出し、解決に導いているかご自身の経験をお話しいただくとともに、ご自身の実践について紹介していただく。

実施形態 各教室1コマ30分×3コマ実施（90分）

移動時間を2回5分とる

1コマ目 13:30~14:00 各講師によるワークショップ1回目

2コマ目 14:05~14:35 各講師によるワークショップ2回目

3コマ目 14:40~15:10 各講師によるワークショップ3回目

4コマ目 15:15~15:20 アンケート回答・振り返り入力

講師 自然 山梨県立大学特任教授 風間ふたば 様
自然 南アルプス生態邑所長 大西信正 様
工学 山梨県建設業協会 山本憲一 様
防災 防災ブレーメン代表 三枝則子 様
農 マルサ・マルシェ代表 辻千鶴 様
国際 ジャパンアートマイル代表 塩飽隆子 様
観光 フルーツパーク 古屋明史 様
観光経済 株式会社IB 角田富美子 様、佐藤知佳 様
経済 ホテル千石 鈴木駿一 様
福祉 寿ノ家 新海あかね 様
福祉 わかばこども園 前嶋幸枝 様
スポーツ 笛吹市パラスポーツセンターセンター長 荻野洸 様
伝統文化 笛吹市役所一宮支所所長 内田裕一 様
デザイン SPC 代表 長田剛 様
街づくり 移住定住コンシェルジュ 雨宮真由美 様
街づくり 株式会社 KEIPE 雨宮友美 様



備考 工学分野は、1コマ目のみ実施する。国際は、別日に実施する。
講師は 13:10 に図書室に集合し、当日の打ち合わせを行う。ワークショップ終了後に図書室に戻り 15:30 を目途に本日実施した内容や生徒の様子について情報共有をしていただく。
生徒は、本ワークショップで経験したことをもとに今年度の分野を決める。ワークショップ終了後に、Teams によるアンケート配信を行い、分野の希望を入力する。